

KEN TIMES

2020年 10月号



今月のインタビューは、「タイ
コア合同会社」の、**ロビンソン**
ご夫妻だけい。



◆異例の例祭。

ある意味で、より強い意志という
か、「伝統芸能」の重みを感じまし
た。

今年の湯沢神社例祭は、縮小
も縮小、9月9日に「猿田彦命の舞」
と、氏子惣代による「神事」のみが
行われました。実際、見る側にと
っては、9月8日の前夜祭の方が
メインとなっている感覚があると思
いますが、その前夜祭も今年は花
火のみ…。そんな中、自前で夜
店を出している丸見屋の晃久さん
の姿には、いたく感動しました。

…話は戻って。なぜ僕が今年
のお祭りに、より強いものを感じた
かというと、こんな世の中の状況で
あっても、出来る限りの事は「なん

とかやる」。そういうものを強く感じ
たからです。本来のお祭りの意味っ
て…？ 世の中が平和で、そして
豊かであることを願って、ですよ。
「辞めちゃう」という選択は簡単なの
です。いろんな準備も無くなりますし、
責任も問われません。実際、近隣地
区のお祭りは全て中止になっていま
した。それはそれで仕方ないことだ
と思っています。しかし、そういう状
況でもリスクを負って、縮小であれ、
野沢はお祭りが出来たということは、
非常に誇り高く、嬉しく思います。惣
代さんはじめ、厄年の先輩方、お祭
りに携わっている全ての村民の方、
お疲れさまでした。そしてありがと
うございました！



◆「こちら側」からの視点。

笛をやっています。僕は。多くの時
間を「猿田」で過ごしているので、書
きたいことは山ほどあるのですが、今
回は「こちら側」から見た、猿田の「カッ
コイところ・個人的に好きなところ」で書
きます。ちょっとマニアックなので、経験
者にしか伝わらない部分もあるかもし
れませんが、悪しからずです。

一番はですね～、最後のお宮の舞(9
月9日の方)での奉納のシーン。笛は先
にお宮の中入って、正座して「道中」を
吹いています。太鼓は目の前で叩いてい
ます。正面を見ていると、舞が剣を振っ
て、奉納の舞をしながら、一段一段しっ
かりと石段を踏みしめて上がってきます。
まずは兜についたニワトリが見えて、兜、

天狗のお面、きらびやかな衣装、松明
の煤で汚れた白い袴、そして草鞋…。
という順番で姿全体が見えてきます。
一段一段ゆっくりと、そして力強く石段
を踏みしめてきます。ここですね。一
番カッコイイのは。言葉にできない凄
みのようなものがあります。まさに「天
孫降臨」を彷彿させます。そして舞が
お宮の前まで来て…最後の段に乗
ると同時に、太鼓が「乗った」の合
図。次の、舞が深く礼をして、頭を上
げる動作と同時に笛も太鼓もピタッと
音を止めます。急にあたりの静けさが
際立ち、舞が終わったことに気づきま
す。他にも書きたいシーンがありまし
たが…また来年ですね。お楽しみに。



◆これは本当にE-バイク！



「E-バイク」は、一言でいうと、ハイテク電動自転車です。電動自転車という、ママチャリにデッカイ発電機のようなものが付いていて...というイメージがありますが、このSPECIALIZEDのE-バイクは、見た目もとてもスマート。何よりその軽やかな乗り心地にと

きめきを覚えます。特にですね、間違いなくこれは「野沢向き」です。野沢で自転車に乗ろうと思ったら、ちょっとした気合が必要じゃないですか。フジヨシから横落の湯に行くのですら、あの登りですから、多かれ少なかれ、それなりの心の準備がいるわけです。それが一切なくなるので、「はじめの一歩」が出やすいのです。先日も、朝の空気をちょっと吸いこと、伊勢宮公園まで漕ごうと思ったら、その勢いで見晴台までスイスイと行ってしまいました。雨さえ降らなければ巢鷹湖まで行こうかと思ったぐらいです。...値段もそれなりにE~ですが、これは絶対に買って後悔ナシです！

コンパスハウスの雄大さん、岳光さん、超ナイスなバイクをありがとうございました！もう一台欲しい！

◆なぜ、いつもイイ顔で撮れない？

こんなに辺り一面のひまわりが美しいのに。だいたい背景が素晴らしいときに「狙って」子どもの写真を撮っても、うまくいった試しがありません…。このひまわり畑は、瑞穂の東小学校前



～、朝こどもえんに来るときさ、いつもヒマワリがきれいなんだって～。だから、ね、カゾクでいこうよ。」と息子。心穏やかに過ごせる、良い時間でした。その後は木島平のわたなべ食堂へ。非常に盛りりのいい、「ザ・定食屋の味」が我々を常連にさせるのは、言うまでもありません。



◆これが心導会(しんどいかい)～マンちゃん・智子おめでとう～

いよいよ！いよいよ！あのマンちゃんが結婚に漕ぎ着けました！マンちゃんといえば、同級生の人気者で、いつもみんなの注目の的。彼がその場にいらなくても飲み会をすれば一度は名前が出るという、なんとも羨ましいヤツなんです。「そろそろイイ相手見つかったんかい？」なんてセリフは、最近ではもうみんな聞き飽きていた頃でした…。そんなマンちゃんがまさか智子(こちらに近い地区出身の同い年)と結婚するとはね！コロナの影響で身内だけの式を挙げられていましたが、彼が同級生のサプライズを待っていないわけがありません。ですので、勝手にやらせていただきました。打ち合わせも1分で終了。久保田屋の寛也が「シャンパンぶっかけねえ？」、僕が「噴水に落とさねえ？」「じゃあ両方やっつけばイイね。ハイ決まり！」ということに関しては流石にノリのいい心導会。ほとんどが集まってくれて、当日は無事に彼の晴れ姿を台無しにできました。しかし、愛されてるね～！マンちゃん、智子。ちゃんと奢れよ！

のもです。やさしい夕陽が、より一層ひまわりの黄色を鮮やかに引き立てています。この日、ここへ行くことになったきっかけは…息子が保育園の先生から聞いたようです。「センセイがさ

◆今年はいっぱい行けたね～！



松のトンネルを抜けると、そこには大湊のきれいな青い海が広がっています。シュネーファミリーに誘ってもらうまで、「大湊」は知りませんでしたが、ここの海の青さは新潟一かもしれません。今夏、最後に行ったのは9月6日。クラゲが出ないか心配でしたが、この日の海は、長年大湊の海に入っているというおじさんの話でも、ここ20年で一番だったとか。かなり透き通っていて、クラゲも出ず、子どもたちはずっと飽きもせずに海中の魚を見て喜んでいました。という大人達も。

・・・これを書きながら、ふと最後に両親と海へ行った日のことを思い出しました。確か小6か中1だったか・・・。双子の弟の連も一緒でした。泳いだり、潜って何かを捕ったりして、その場で焼いて食べました。そして、その時に飲んだ缶ビールが、初めて「美味しい！」と思ったのです。半分ぐらい飲んだら、もう「苦い。」に変わっていましたけれど。いつの日も、海の思い出は強く心に残ります。

◆刈り入れどき。

書き入れ時です。・・・辺りを見渡すと、はぜ掛けの景色が素晴らしく美しいこの季節です。妻も大きなお腹で(今月18日、3人目の予定日です！)朝から実家の稲刈り(25町歩ほどやっている)へ出かけて行きます。さすがでございます。毎年この時期に思うことは・・・え！この前、田植えしたばかりじゃん！もう冬じゃん！ということ。嬉しいような、悲しいような・・・。野沢の人はみんなそんなか感じてでしょうか。写真の息子たちに負けないよう、今この瞬間、「旬」を楽しむことに、全力を注ごう、そう思う次第なのです。



◆仕事仲間と富山の夜。



記憶は曖昧ですが、富山で楽しく飲んでいたようです、お昼から。この日は、富山、石川、新潟、長野の仕事仲間が集まりました。写真のお店は、「ホンモノ」の富山ブラック(ラーメン)のお店ですね。人生で一番しょっぱいラーメンでした。おかげで夜中に喉が渇いて3回も起きましたよ。もちろん、その前に富山の美味しい海の幸と、日本酒もしっかり堪能してきました。去年は溪流の写真でご登場いただきましたが、金髪の方が僕の師匠です。だいぶ野沢が気に入っていただいたようで、かなりのペースでお越しいただいています。何度か村民と間違われて道を聞かれるほどで、しかも無事に答えてしまうそうです。今回は富山前に野沢入りされ、タングラムでゴルフ、近所のおじさん達と家でフグ鍋を囲み、翌日は、また打ちっぱなし・・・と、楽しい時間を共にさせていただきました。師匠、またお待ちしておりますね～！